

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 81

事務事業名	パスポートセンター事業
-------	-------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市民環境部		
課名	地域げんき課		
課長名	松本 裕幸	内線	183
担当者名	山口 博之	内線	185

基本目標		持続可能な行財政運営と市民協働の推進
政策	060101	効率的で開かれた行政運営の推進
施策		効率的な行政運営の推進
関連施策		

会計	一般会計	
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	1	一般管理費
事業コード	120000	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	主として大村市に住民登録している住民		
意図 対象をどのような状態にしたいか	市役所でパスポートの申請や交付手続きが行えるようにする。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	パスポート業務窓口を地域げんき課内に設置し、申請・交付の業務を行う。 ①申請を受けた後、内容を審査確認し、長崎県民センター(長崎県パスポートセンター)に申請書を送付する。 ②長崎県民センターが作成し送付されて来たパスポートを申請者に交付する。		
事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 年度	実施方法	
根拠法令、要綱等	旅券法、旅券法施行令・施行規則、地方自治法第245条の9(処理基準)		
国・県補助事業に係る本市単独施策	有 長崎県からの権限移譲交付金だけでは事業費が不足し、その残額を負担している。		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① パスポートセンター窓口の年間開設日数	計画値	244	244	243	243	
		実績値	244	244	243		
	達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%		
	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	① パスポート申請・交付件数	計画値	3,024	3,024	3,024	3,024	計画値 126件×2×12月
		実績値	3,132	2,852	2,895		
	達成度	%	103.6%	94.3%	95.7%		
	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	2,699	2,473	2,428	2,644	2,722	2,722	2,722	0
国庫支出金								
県支出金	2,062	1,672	1,579	1,579	1,583	1,583	1,583	
地方債								
その他								
一般財源	637	801	849	1,065	1,139	1,139	1,139	
② 人件費(千円)	318	302	0	0	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.04	0.04	0.00		市民のパスポート申請受付・交付業務	市民のパスポート申請受付・交付業務	市民のパスポート申請受付・交付業務	
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	3,017	2,775	2,428	2,644				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	市役所でパスポート受付業務を開始後8年が経過し、市民への周知は行き渡っている。 長崎県県民センター主催の研修や処理基準の把握に努め円滑に事務が進められている。
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	親権者の署名問題や、配偶者が外国人の場合の取り扱いなど、市民課職員と同程度の知識が必要である。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	県からの権限移譲						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	旅券申請には、戸籍抄(謄)本の提出及び住民登録の確認が必要である。同じ市役所内の窓口でこれらの業務を行うことで「ワンストップサービス」が可能となり、市民サービスの向上となる。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	パスポートの申請・交付業務を市で行うことにより、市民の手続き時間が短くなる。市民の海外渡航を促進することにもつながっている。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	パスポートを必要とする市民の利便性が向上している。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

<input checked="" type="checkbox"/> 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	
--	-------------------------------	--

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	大村市ホームページ内の案内を充実させ、手続き等の要領の周知徹底を図る。特に人事異動時期において、パスポート申請関係の事務に関する市民課との連携体制を再確認し、市民サービスに影響が出ないように注意していく。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。